

令和8年度報告の骨子案等に係る小委員会における主な指摘事項

- 有明海・八代海での鳥類については、資料で使用されている「鳥類等陸域生態系」として、鳥類を含む生態系について言及できるほど調査が十分に行われていない状況であり、また調査点も少なく海域全体に広げて当てはめることは難しい。正確を期すため、例えば藻場・干潟などの項目での「一部の海域における鳥類の飛来数」程度になるのではないかと指摘された。
- 新規項目である気候変動や社会経済情勢について、項目立ての順番については、特に気候変動については、気候変動そのもののグローバルな話と、気候変動による影響といったリージョナルな話との二段階があるので検討を要する。
- 湾奥沿岸にまたがる海域区分のA1については、貧酸素水塊、植物プランクトンの発生状況等の特徴が異なることから、東西に分けて考えたほうが整理や、原因究明、施策検討がしやすいのではないかと指摘された。